

委 7-3-1

宇宙開発に関する海外の動向

10月15日(月)

- 米国実験衛星の迎撃を決定 【米】

2月14日(木)(現地時間、以下同)、米国防総省(DOD)は、制御不能な試験衛星が2月末から3月初めに大気圏に再突入する見込みであり、確率は小さいが人口密集地への落下の懸念があることから、ブッシュ大統領が同衛星の迎撃を決定したと発表した。同迎撃は2月下旬から3月上旬の間に行われる予定。計算によると再突入時の同衛星の重量は約2500ポンド(約1134kg)で、うちヒドラジン燃料は約1000ポンド(約454kg)であるが、迎撃が成功すれば、ヒドラジンにより人体に危険を及ぼすおそれはないとのこと。

### 宇宙開発の現状報告

(平成20年2月13日(水)～平成20年2月19日(火))

平成20年2月20日  
宇宙開発委員会事務局